


開発行為許可申請書添付図書リスト（1）

 は添付を要さない書類

申請書類		自己用				非自己用			備考
		0.3ha未満	1ha未満	1ha以上		0.3ha未満	1ha未満	1ha以上	
				居住	工業 作務				
開発許可申請書 (省令別記様式第2)									
委任状									
法第34条に関する申請に必要な図書								市街化調整区域	
資金計画書 (省令別記様式第3)									
申請者の 資力信用	申請者の資力及び信用に関する申告書 (市細則様式第7号)								
	登記簿謄本							個人の場合は住民票 申請日前3ヶ月以内のもの	
	法人事業税に関する納税証明書							法人の場合 前年度及び前々年度の2年分	
	最近の事業年度における 所得税に関する納税証明書							個人の場合 前年度及び前々年度の2年分	
	所有する固定資産の評価額証明書							個人で預金残高証明又は融資証明がない 場合	
	預金残高証明書							自己資金の場合 申請日前3ヶ月以内のもの	
	融資額証明書							銀行等から融資を受ける場合	
	工事請負契約書 又は工事請負見積書							指示があった場合 (工事請負見積書は法人の場合のみ)	
	宅地建物取引業の免許を証する書類							宅地や建物を分譲する場合	
事業経歴書							申告書の下段に記入で可		
工事 施行者	工事施行者の能力に関する申告書 (市細則様式第7号)								
	登記簿謄本							個人の場合は住民票 申請日前3ヶ月以内のもの	
	建設業の許可を証する書類							土木又は建築	
	事業経歴書							申告書の下段に記入で可	
設計 者	設計者の資格に関する申告書 (市細則様式第5号)								
	設計者の資格を証する書類								
設計説明書 (市細則様式第3号)								自己の居住用の場合は不要 工区分けの場合は全工区及び工区毎のもの	
工事概要書 (市細則様式第2号)								工区分けの場合は工区毎のもの	
開発行為に関する同意の一覧表 (市細則様式第6号)								都市計画法32条同意分	
同上に関する各同意書									
給水装置工事・事前審査結果回答書								自己の居住用の場合は不要	
土地所有者等関係権利者の同意書 (市細則様式第4号)								抵当権者等を含む(要印鑑証明)	
登記事項証明書								申請日前3ヶ月以内のもの	
公函(字限函)								申請日前3ヶ月以内のもの	
他の法令に関する許可等の写し								急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する 法律等	
開発区域の現況写真									
設計者の資格に関する申告書 (宅造マニュアル様式第1号)								宅地造成工事規制区域内で見え高5m超の 擁壁を新設する場合又は切盛面積1500㎡ 超の造成を行う場合 資格を証する書類も併せて添付	
工事監理者の資格に関する申告書 (宅造マニュアル様式第1号)									

開発行為許可申請書添付図書リスト（2）

図面名称	明示すべき事項	備考	図面名称	明示すべき事項	備考
開発区域位置図	1 方位 2 開発区域（朱書き） 3 開発区域周辺の都市施設及び都市計画施設の位置、名称 4 市界と名称 5 市界の区域内の町または字の境界と名称 6 都市計画区域界と名称 7 用途地域及びその他の規制区域等 8 土地の形状	地図に明示すること。 規制区域等の外周区域を包括したものとすること。	造成計画平面図	1 方位 2 開発区域の境界（朱書き） 3 切土または盛土をする土地の部分 4 崖、擁壁（茶色で着色）位置、形状 5 公共・公益的施設の位置及び形状 6 道路の中心線とその測点及び計画高 7 予定建築物等の敷地の形状及び計画高 8 法面の勾配 9 工区界 10 地形（現況線） 11 縦横断線の位置及び記号 12 ベンチマークの位置と高さ 13 凡例	切土部は黄色、盛土部は緑色で着色すること。 切土または盛土をする土地の部分で表土の復元等の措置を講ずるものがあるときはその部分を図示すること。 現況線は細線等で記すこと。 必要に応じて工区完了毎のものを作成すること。
1/2,500以上			1/1,000以上		
現況図	1 方位 2 開発区域の境界（朱書き） 3 地形（等高線は2mの標高差を示す） 4 開発区域内及びその周辺の公共・公益的施設の位置及び形状 5 行為の妨げとなる権利を有するもの工作物等の物件 6 現況写真との照合符号と撮影方向 7 令第28条の2第1号に規定する樹木または樹木の集団及び同条第2号に規定する切土又は盛土を行う部分の表土の状況 8 ベンチマークの位置と高さ 9 道路名、道路幅員、水路名 10 土地の地番 11 工区界	7は規模が1ha以上の開発行為について記載すること。	造成計画断面図	1 開発区域の境界（朱書き） 2 基準線（D. L.） 3 計画地盤高 4 崖、擁壁、排水施設、道路の位置、形状 5 土質想定線、水位想定線 6 切土又は盛土をする前後の地盤面 7 擁壁床レベル 8 その他構造物の位置、形状 9 法面の勾配	切土部は黄色、盛土部は緑色で着色すること。 新設擁壁は茶色で着色すること。
1/2,500以上			1/1,000以上		
土地利用計画図	1 方位 2 開発区域の境界（朱書き） 3 工区界 4 新設擁壁（茶色で着色） 5 公共・公益的施設の位置及び形状（着色） 6 予定建築物等の敷地の形状及び計画高 7 敷地にかかる予定建築物等の用途 8 樹木または樹木の集団の位置 9 緩衝帯の位置及び形状 10 凡例・面積表 11 ベンチマークの位置と高さ 12 道路名、道路幅員、水路名 13 道路中心線、測点、計画高、延長、勾配、幅員	この図面は開発登録簿の図面として一般の閲覧に供されるので明確に表示すること。 8は規模が1ha以上の開発行為について記載すること。 9は規模が1ha以上で騒音、振動等による環境の悪化をもたらす恐れのある開発行為について記載すること。 必要に応じて工区完了毎のものを作成すること。	擁壁配置図	1 開発区域の境界（朱書き） 2 擁壁位置、形状（縦壁着色） 3 方位 4 前面及び背面地盤レベル 5 地質調査位置 6 底版欠損部検討平面（面積根拠共） 7 底版底レベル、底版幅寸法 8 ベンチマークの位置と高さ 9 法面の勾配	
1/1,000以上			1/500以上		
求積図	1 開発区域の全面積 2 道路、水路、公園等の公共・公益的施設を区別した空地の面積 3 宅地面積 4 造成面積	原則として座標値計算により算出するが、三斜でもよい。	擁壁展開図	1 地質調査柱状図 2 地盤想定線、水位想定線 3 改良範囲 4 前面及び背面地盤レベル 5 擁壁天端レベル及び底版底レベル 6 全高、見え高及び根入れ寸法 7 底版段差処理 8 水抜穴の位置及び個数算定面積 9 出隅補強、折点、目地 10 構造計算で使用している支持層のN値 11 支持層の種別	
1/500以上			1/200以上		
			給水施設計画平面図	1 方位 2 開発区域の境界（朱書き） 3 給水施設の位置、形状、寸法 4 取水方法及び取水位置 5 消火栓の位置及び種類 6 ポンプ施設、貯水施設、浄水施設の位置及び形状	排水施設計画平面図にまとめて図示してもよい。
			1/500以上		

開発行為許可申請書添付図書リスト（3）

図面名称	明示すべき事項	備考	図面名称	明示すべき事項	備考
排水施設計画 平面図 1/500 以上	1 方位 2 開発区域の境界(朱書き) 3 排水施設の位置、種類、材料、形状、寸法、勾配、水の流れの方向、吐口の位置 4 放流先河川、水路の名称 5 道路、公園その他の公共・公益的施設及び予定建築物等の敷地の計画高 6 汚水処理場の位置、形状 7 凡例 8 ベンチマークの位置と高さ 9 新設擁壁（茶色で着色） 10 防災小提	必要に応じて工区完了毎のものを作成すること。 土間コンクリート舗装等仕上げをする場合は表示すること。	工作物構造図 1/50 以上	1 施設の寸法・材料の詳細	橋梁、終末処理施設、消防水利施設等
道路構造図 1/50 以上	1 道路の幅員構成 2 横断勾配 3 路面、路盤の材料、品質、形状及び寸法 4 道路側溝及び埋設管等の位置、形状及び寸法	排水施設構造図にまとめて図示してもよい。	防災計画図 1/2,500 以上	1 方位 2 開発区域の境界（朱書き） 3 地形 4 工事中的雨水排水経路 5 防災施設の位置、形状、寸法及び名称 6 凡例	宅造区域外で1ha未満の場合は除く。 1ha以上の場合は防災計画説明書を添付すること。
道路計画 縦断面図 1/1,000 以上	1 測点 2 勾配、延長 3 計画地盤面、地盤高 4 縦断曲線 5 単距離及び追加距離 6 基準線（D. L.） 7 道路記号		排水流域図 1/2,500 以上	1 方位 2 開発区域の境界（朱書き） 3 集水系統ブロック（色分け） 4 地表水及び排水施設の水の流れの方向 5 流量計算書との照合符号	区域外の集水状況を図示できる範囲で外周区域を包括したものとすること。 排水施設計画平面図にまとめて図示してもよい。
排水施設 縦断面図 1/1,000 以上	1 測点 2 排水渠勾配、管径、延長 3 管底高、土被り 4 人孔種類、位置及び記号 5 人孔間短距離及び追加距離 6 基準線（D. L.） 7 排水施設記号 8 凡例		地質調査 報告書 (ボーリング調査)	1 柱状図 2 推定地質断面図 3 考察及び所見 4 室内試験結果報告 5 その他市長が必要と認めるもの	
崖の断面図 1/50 以上	1 崖の高さ及び勾配 2 土質（土質の種類が2以上であるときは、それぞれの土質及びその地層の厚さ） 3 崖面の保護の方法 4 現況地盤面	擁壁でおおわれる崖面については土質に関する事項は、示すことを要さない。	その他	1 擁壁タイプ一覧表 2 構造計算書 3 斜面安定計算書 4 流量計算書（雨水・汚水共） 5 土量計算書 6 工作物等の施設の能力に関する計算書 7 地下水排除工、段切工、地下防災工の位置図及び構造図 8 その他市長が必要と認めるもの	1は全高、底版幅、基礎地盤種別、N値、地盤反力、摩擦係数等を明記すること。
擁壁の断面図 1/50 以上	1 擁壁の寸法及び勾配 2 擁壁の材料の種類及び寸法 3 裏込めコンクリートの品質及び寸法 4 透水層の位置、寸法及び材料 5 水抜穴の位置、材料及び寸法 6 吸出防止材、止水コンクリート 7 均しコンクリート、基礎砕石 8 擁壁を設置する前後の地盤面 9 基礎地盤の土質	鉄筋コンクリート擁壁のときは配筋図が必要である。	○この表に示した縮尺は、都市計画法施行規則に定められた縮尺ですが、規模が小さい場合は用紙に納まる範囲で、できるだけ大きく表示すること。 ○平面図及び断面図については相当範囲の外周区域を包括したものとすること。 ○擁壁を設置する場合、予定建築物の敷地内で縁を切り、擁壁が敷地をまたがないように配慮すること。 ○雨水及び汚水は、予定建築物の敷地内で集水することとし、敷地をまたがないように配慮すること。		
排水施設 構造図 1/50 以上	1 開渠、管渠、会所、落差工、吐口等の構造 2 放流先河川、水路の名称、断面及び吐口の高さ	鉄筋コンクリート造のときは配筋図が必要である。			